

令和元年度版

福祉事業概要

小平市

市民憲章

(制定：昭和47年10月1日)

わたくしたち小平市民は、300年前、荒れ果てたこの地に、はじめてくわを打ち込んだ先人たちのたくましい開拓精神を受け継ぎ、新たに迎える多くの市民とともに、明るく住みよい小平を築くために市民憲章を定めます。

- 1 わたくしたちは みどりを育て 小鳥の来るまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは 老幼をいたわり 思いやりのあるまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは 時間を守り きまりのよいまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは えがおで働き 健康なまちをつくりましょう
- 1 わたくしたちは 力を合わせ みんなで市民生活を楽しみましょう

老人憲章

(制定：昭和51年5月19日)

わたくしたち小平市民は、開拓時代からつちかってきた人情豊かな助け合いの精神を生かして、すべての老人が明るく生きがいのある生活ができるようこの憲章を定めます。

- 1 わたくしたち老人は いつまでも 元気で敬愛される老人となりましょう
- 1 わたくしたち老人は 知識と経験を生かし すすんで社会活動に参加しましょう
- 1 わたくしたち老人は 趣味を生かし 仲間とともに楽しい老後を送りましょう
- 1 わたくしたちは 老人を中心とした なごやかな家庭をつくりましょう
- 1 わたくしたちは まちぐるみで 老人にあたたかい手をさしのべましょう
- 1 わたくしたちは 力を合わせて 老人とともに明るく住みよいまちづくりを進めましょう

は じ め に

小平市ではこれまで「老人のための明るいまちモデル都市」、「障害者福祉都市」、「健康文化都市」、「東京都福祉のまちづくりモデル地区」の指定をはじめ、多くの福祉施策を市民と共に取り組んできました。

市の令和2年1月1日現在の人口は、194,869人で65歳以上の高齢者人口は45,051人、高齢化率は23.1%で0.1ポイント上昇、一方14歳以下の年少人口は25,505人、人口に占める割合は13.1%で前年同様の割合となっており、高齢化が進んでいます。

令和元年度に取り組んだ主な事業として、地域福祉関連では、「小平市第四期地域保健福祉計画」及び「小平市第三期福祉のまちづくり推進計画」（平成30年度～令和8年度）に沿って、地域福祉と福祉のまちづくりを総合的に推進しました。また、生活困窮家庭及びひとり親家庭の子どもを対象に実施している学習支援事業の対象年齢を高校生相当年齢まで拡充するとともに、実施場所及び人数を拡大しました。

高齢者・介護保険事業関連では、「小平市地域包括ケア推進計画」（平成30年度～令和2年度）に沿って、地域包括ケアシステムの構築に向けて、計画で掲げた高齢者・介護保険施策を体系的に推進するとともに、次期の地域包括ケア推進計画策定のためのアンケート調査を実施しました。

障がい者関連では、「小平市障がい者福祉計画」（平成27年度～令和2年度）、「第五期小平市障害福祉計画」及び「第一期小平市障害児福祉計画」（平成30年度～令和2年度）に沿って、各障がい者施策を体系的に推進するとともに、次期の障がい者福祉計画等の策定のためのアンケート調査を実施しました。また、障がい児の重層的な地域支援体制の構築を目指すための児童発達支援センターの設置に向け、児童発達支援センターの設計を進めました。

子育て関連では、「小平市子ども・子育て支援事業計画」（平成27年度～令和元年度）及び「小平市子ども・若者計画」（平成30年度～令和9年度）に沿って、各子育て支援施策及び子ども・若者育成支援施策を体系的に推進しました。また、「第二期小平市子ども・子育て支援事業計画」（令和2年度～6年度）を策定しました。学童クラブでは、入会児童数の増加に伴い、令和3年度に予定している新設4か所の準備を進めました。

保育関連では、私立認可保育園の新設により保育定員の増を図るとともに、1人の認定家庭福祉員が国制度の家庭的保育事業への移行や、新たに1つの幼稚園でアットホーム事業を開始するなど、保育サービスの拡充に取り組みました。また、令和元年10月より子育て世帯の負担軽減を図る幼児教育・保育の無償化を開始しました。

ひとり親関連では、ひとり親家庭の父母等の相談を受けながら、各家庭の自立に向けて、子どもの修学費用等の資金貸付や生活の安定につながる就労支援を行いました。

今後とも、多様なニーズに対応していくため、時代の変化に対応したサービスの見直しを進めるとともに、各種の保健福祉サービスの充実に努めていきたいと考えています。

令和2年9月

小平市健康福祉部
小平市子ども家庭部

目 次

第1章 地域福祉

第1節	民生委員・児童委員	1
第2節	民生委員推薦会	2
第3節	日本赤十字社	2
第4節	旧軍人・戦没者遺族に対する援助	2
第5節	中国残留邦人等支援事業	3
第6節	災害見舞金・災害弔慰金	3
第7節	社会を明るくする運動	3
1	趣旨	3
2	活動主体	3
3	主な活動内容	3
第8節	福祉のまちづくり推進事業	4
第9節	地域福祉推進事業等	4
1	有償家事・介護援助サービス等団体補助事業	4
2	権利擁護	5
3	福祉有償運送事業の推進	5
4	地域保健福祉推進会議	5
5	福祉人材養成講座	5
第10節	受験生チャレンジ支援貸付事業	6
第11節	生活困窮者自立支援事業	6
第12節	身体障害者・知的障害者相談員	6
第13節	小平市社会福祉協議会	6
第14節	避難行動要支援者避難支援体制の整備事業	7
1	「避難行動要支援者登録名簿」の作成	7
2	救急医療情報キットの配付	8
3	避難行動要支援者の避難支援に関する協定	8
4	自治会等との避難行動要支援者登録名簿の取り扱いに関する協定	8
第15節	社会福祉法人の指導監査	9

第2章 高齢者福祉

第1節	高齢者福祉の動向	10
第2節	高齢者福祉の現況	11

1	高齢者人口の推移	11
2	ひとりぐらし高齢者及び高齢者のみ世帯の支援	11
3	高齢者福祉相談	11
第3節	高齢者福祉の施策	13
1	社会活動への支援	13
2	介護予防の推進	15
3	医療に関する制度	18
4	老人ホームへの入所措置	18
5	老人のための明るいまち推進事業	18
6	敬老記念品贈呈事業	20
7	その他	20
第4節	介護保険制度の推進	20
1	介護保険料	21
2	被保険者数	21
3	要介護等認定状況	21
4	介護サービス受給状況	21
5	保険給付費	22
6	地域支援事業	22
第3章	障がい者福祉	
第1節	障がい者福祉の動向	24
第2節	障がい者福祉の現況	25
1	身体障がい者数	25
2	知的障がい者数	26
3	精神障害者保健福祉手帳の交付件数	26
4	心身障がい者数	27
第3節	障がい者の福祉施策	27
1	障害者福祉施設管理事業	27
2	自立支援給付等	28
3	地域生活支援事業等	31
4	障がい者（児）の手当・医療費の助成	36
5	交通費等の助成、割引	38
6	その他の事業	39
7	その他	43

第4章	児童福祉	
第1節	児童福祉の動向	44
第2節	児童福祉の現況	45
1	保育園	45
2	学童クラブ	53
3	児童館	54
4	入院助産施設に対する入所	55
5	母子生活支援施設	56
6	認定こども園	56
7	幼稚園アットホーム事業	56
8	一時預かり事業	56
9	緊急一時保育	57
10	定期利用保育事業	57
11	病児・病後児保育事業	57
12	子育てふれあい広場事業	58
13	子ども家庭在宅サービス（子どもショートステイ事業）	58
14	子ども家庭支援センター事業	58
15	ファミリー・サポート・センター事業	58
16	子ども広場事業	58
17	養育支援ヘルパー派遣事業	59
第3節	児童の手当	59
1	児童手当支給	59
2	児童扶養手当支給	60
3	特別児童扶養手当支給	60
4	児童育成手当支給	61
5	心身障害児福祉手当支給	61
6	幼児養育費補助	62
7	乳幼児医療費助成制度	63
8	義務教育就学児医療費助成制度	63
第5章	母子・父子及び女性福祉	
第1節	母子・父子福祉	65
1	母子・父子福祉の動向	65
2	母子・父子福祉の現況	66

3	ひとり親家庭の施策	66
第2節	女性福祉	71
1	女性福祉の動向	71
2	女性福祉の現況	71
第6章	生活保護	
第1節	生活保護の動向	74
第2節	生活相談の現況	75
1	生活相談	75
2	相談内容	75
第3節	生活保護の現況	77
1	保護率	77
2	被保護世帯地域分布及び世帯構成人員	78
3	扶助別人員	80
4	開始・廃止	81
5	世帯類型	82
6	労働力類型	83
7	入院・外来病類別医療扶助人員	85
8	自立支援プログラム	88
9	生活保護費支給	89
第4節	法外援護の現況	91
1	小平市の法外援護	91
2	小平市社会福祉協議会の法外援護	91
3	東京都の法外援護	91